

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			適切に確保できています。
	②	職員の配置数は適切であるか	50%	33%	17%	適切に確保できています。各個室、メインフロアと適切に職員を配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	33%	67%		出入り口にはスロープがあり、トイレには手すりが設けられています。今後、さらに配慮できるよう考えています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	50%	50%		始業前、終業後にミーティングを毎日細かく行い、全員参加で実施しています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	83%	17%		アンケートを実施して意向等を把握し、業務改善に繋げています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		33%	67%	当社ホームページにて公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	17%	33%	50%	実施しておりません。今後検討していきます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		67%	33%	外部研修の機会を設けていますが、決まった職員の参加が多いので、職員全員が参加する様にしていきます。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	67%	33%		アセスメントとサービス計画を作成しています。今後の課題として、保護者さまのニーズと利用者の課題をもっと盛り込み、よりよい計画を作成していけるよう努めて参ります。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	17%	33%	50%	今後検討していきたいと考えています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	66%	17%	17%	チーム1つとなり、ミーティングで細かく話し合い、立案を行っています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	33%	34%	33%	休日は様々なイベントを行い、平日も細かい動きを変えてみたり、工夫をしています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	17%	66%	17%	きめ細やかまではいきませんが、それぞれに応じた課題を設定し支援しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	83%	17%		個別活動と集団活動は、常に組み合わせ支援しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	83%	17%		毎日、始業前、終業後に必ず行うミーティングで、確認しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	83%	17%		支援終了後に振り返りを行い、情報を共有し意見交換を行っています。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	83%	17%		ミーティングノートでの記録取りを徹底しています。	

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	67%	33%		行っています。 それにより計画の見直しや継続を判断しています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	17%	33%	50%	現在行っているとは言えませんが、今後ガイドラインを確認し支援していきます。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	83%		17%	適任者が参画しています。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%			職員全員で適切に事細かに行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		67%	33%	主治医の氏名、子供の通う病院名や電話番号等、必要な情報をまとめています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	17%	17%	66%	今後より努めていきたいと思います。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	33%	34%	33%	情報の提供は適宜行っています。また、実際に通う福祉作業所等の見学も行っています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	17%	50%	33%	各専門機関との繋がりや、研修等が受けられるよう、今後検討していきます。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	17%	33%	50%	公園や児童館で健常児と一緒に遊んだり会話のやり取りをしたり、など積極的に行っています。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	50%		50%	参加していません。今後検討していきます。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			保護者さまとの情報の共有や、発達状況・抱える課題等の共通理解、これらは当事業所の大きな強みと考えております。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		50%	50%	保護者さまへの支援も行き届く様に努力して参ります。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	83%	17%		行っています。運営規定については更に丁寧に説明していく必要性を感じています。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	50%	50%		主婦の職員を中心に、行っています。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	17%	17%	66%	現在は行っていないですが、必要性は感じており今後の課題のひとつとしています。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	83%	17%		苦情対応の体制整備と周知、更には苦情があった場合の迅速適切な対応を心掛けています。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	66%	17%	17%	会報ではないですが、必要に応じてプリントでお知らせしています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	100%			取り扱いには十分に注意しています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			絵カードやマグネット等を積極的に活用し、意思疎通を図っています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		33%	67%	図っていません。今後地域に根差し開かれた事業所を目指します。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	33%	50%	17%	マニュアルの策定は災害時マニュアルのみなので、他のものも策定し、職員や保護者さまへの周知も徹底していきます。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	33%	50%	17%	行っています。ただ、頻度は非常に低いので、もっと定期的を実施します。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	33%	34%	33%	研修に積極的に参加し、情報を持ち帰った職員が他の職員に必ず内容を周知しています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	17%	17%	66%	行えていません。身体拘束は最終手段であると職員間で認識しているので、慎重に行動します。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	33%	17%	50%	保護者さまからの情報を元に対応していますが、それが医師の指示書に基づいたものなのか再度確認します。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	83%		17%	作成、共有しています。毎日のミーティングでも積極的に扱っている議題です。